

平成30年度第2回
東京都歯科保健対策推進協議会
会議録

平成31年3月28日
東京都福祉保健局

(午後 3時00分 開会)

○三ツ木歯科担当課長 では定刻となりましたので、ただいまから平成30年度第2回東京都歯科保健推進協議会を開会させていただきます。

委員の皆様方にはご多忙中にもかかわらず、ご出席いただきましてまことにありがとうございます。

議事進行を座長にお願いするまでの間、進行を務めさせていただきます、東京都福祉保健局医療政策部歯科担当課長三ツ木と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。着座で失礼させていただきます。

まず冒頭に、本協議会は公開とさせていただきますこと、また記録のために録音いたしますことを委員の皆様におかれましては、あらかじめご承諾のほどよろしくお願ひいたします。また、東京都庁全体の方針に従いまして、一層の情報公開を進めていくという観点から、本協議会におきましても会議録、会議資料、発言者名を含む議事録全文を東京都のホームページにて公開しますこと、あわせてご了解のほどお願ひいたします。

続きまして、資料の確認をお願ひいたします。お手元配付のもの、次第をご覧ください。次第の下の方、資料1から資料4、参考資料が1から4となっております。もしご不足、それから落丁等ございましたら、議事の途中でも結構です。事務局までお声掛けください。

机上配付させていただきました追加資料がございます。一点目がこちらのDVD、それから小さいバッグ、それと「口腔機能の維持・向上」のリーフレット。あと、本日田中委員のほうから「いい歯ね☆あだち」の「噛みんぐりレポート」の追加がございます。あわせて確認お願ひいたします。

では、委員名簿に従いまして、委員の皆様のご紹介と出席状況を確認させていただきます。お名前のみのご紹介とさせていただきます。所属等につきましては、委員名簿でご確認のほど、よろしくお願ひいたします。

櫻山委員です。

○櫻山座長 櫻山です。よろしくお願ひいたします。

○三ツ木歯科担当課長 宮武委員です。

○宮武副座長 宮武です。よろしくお願ひいたします。

○三ツ木歯科担当課長 平田委員です。

○平田委員 平田でございます。よろしくお願ひいたします。

○三ツ木歯科担当課長 続きまして、鳥居委員ですが、鳥居委員、本日欠席のご連絡をいただいております。

続けさせていただきます。勝俣委員です。

○勝俣委員 よろしくお願ひいたします。

○三ツ木歯科担当課長 鈴木委員です。

○鈴木委員 よろしくお願ひいたします。

- 三ツ木歯科担当課長 藤山委員です。
- 藤山委員 よろしく願いいたします。
- 三ツ木歯科担当課長 西澤委員です。
- 西澤委員 よろしく願いいたします。
- 三ツ木歯科担当課長 小山委員です。
- 小山委員 よろしく願いいたします。
- 三ツ木歯科担当課長 松田委員です。
- 松田委員 よろしく願いいたします。
- 三ツ木歯科担当課長 田中委員です。
- 田中委員 よろしく願います。
- 三ツ木歯科担当課長 寺西委員でございます。
- 寺西委員 よろしく願いいたします。
- 三ツ木歯科担当課長 清水委員ですが、清水委員、本日欠席のご連絡をいただいております。

続けさせていただきます。矢澤委員でございます。

- 矢澤委員 矢澤です。よろしく願いいたします。
- 三ツ木歯科担当課長 最後になります。太田委員でございます。
- 太田委員 よろしく願います。
- 三ツ木歯科担当課長 ではこれ以降は、櫻山座長に進行をお願いしたいと思います。櫻山先生、よろしく願いいたします。
- 櫻山座長 では改めまして、よろしく願いいたします。

では、これより議事に入りますが、次第に沿って行います。

まず、議事の（１）障害者歯科保健医療推進ワーキンググループの報告について、事務局より説明をお願いいたします。

- 三ツ木歯科担当課長 では、資料１ご覧いただけますでしょうか。障害者歯科保健医療推進ワーキンググループの報告でございます。

同ワーキンググループは、今年度２回実施しております。資料１の１ページ目が、１回目、２回目の次第になっています。議事等に関しましては、次第でご確認のほど、お願いいたします。

一枚めくっていただけますでしょうか。

障害者福祉サービス事業所及び利用者に対する調査です。

調査の対象は、事業所、それから事業所に通う利用者を対象としております。併設を除きまして、２，１１４か所とこちらの事業所をご利用なさっている方が対象となっております。内訳は資料のとおりでございます。

調査方法ですが、事業所へアンケートを送付いたしまして、事業所で用紙の記入、及び利用者へ回答をお願いし、取りまとめて返送という形になっております。

スケジュールに関しましては、資料のとおりでございますが、現在集計作業中でございます。また、本日現在の調査回答施設数は53%になっております。

1枚おめくりいただけますでしょうか。

3ページ目から5ページ目までがアンケート調査の調査用紙になっております。3ページ目が、事業所の回答用、1枚おめくりいただきまして4ページ目の両開き1ページ、2ページで、それから3ページ、4ページ、こちらのほうが利用者にご記入いただくアンケート用紙になっています。

雑駁でございますが、以上です。

○櫻山座長 ありがとうございます。

このワーキンググループについては、座長を平田委員にお願いしておりますので、平田委員、何かご追加はございますか。

○平田委員 ワーキングのほうを担当させていただいております平田でございます。

追加は特にないんですが、アンケートの回収が期待以上に順調に進んでおりまして、まだ集計が済んでおりませんので、その中身についてはまた改めてご報告させていただくということになるかと思いますが、また何かございましたらご意見頂戴できればと思っております。よろしくお願いいたします。

○櫻山座長 ありがとうございます。

回収率、なかなかいいようですね。

委員の皆様から何かご質問等ございますか。ご発言あったらお願いいたします。よろしゅうございますか。解析の結果に期待しておりますが。

それでは議事を進めます。続いて議事の(2)でございます。東京都歯科保健推進計画検討評価部会の報告について、事務局から説明をお願いいたします。

○三ツ木歯科担当課長 それでは、資料は資料2になります。

部会のほうは本年度1回開催しております。資料2の1ページ目が、部会での次第になっております。議事に関しましては、報告事項、協議事項、その他という形になっております。内容につきましては、資料でご確認いただければと思います。

1枚おめくりいただけますでしょうか。

「周術期口腔ケアに関する病院側への調査実施について」でございます。こちらのほうは、病院から周術期の口腔機能管理に関しまして、患者さんがどのような形でご紹介をされているか病院からの流れというところに視点を置いた調査です。課題・目的といたしましては、周術期口腔ケアにおける医科歯科連携を行っている歯科診療所は21.8%という、このような実数がございます。また、周術期の口腔ケアにおきましては、医科側から歯科側へのアプローチというところが非常に重要なところでございますが、これが果たして病院側からどのような形で進んでいるのかを把握するために、調査を実施しております。

調査の対象ですが、東京都のがんの施策に協力いただいている拠点病院、診療協力病

院等57病院に調査を行っております。

調査内容につきましては裏面以降になります。調査のスケジュールですが、ただいまこちらのほうも回収しているところでございます。回収の締め切りは明日を設定しております。回収でき次第、また解析を進めまして、5月ごろ部会を開催いたしまして、調査結果のほうをご報告したいと考えております。

1枚おめくりいただけますでしょうか。

こちらがアンケート用紙になっております。これは調査を企画したときに、やはり病院側も周術期の口腔機能管理につきまして、余りご存じない部分もあるのではなかろうかというところで、前段のところで「周術期等口腔機能管理について」として、保険診療報酬に位置づけられているということ、それから対象手術等が30年の保険診療報酬改正で広がっているところにつきまして、病院側からはこのような形で診療報酬の請求等できるというようなところも踏まえて、前段につけさせていただいております。以降は、患者さんが対象手術の診療科からどのような形で歯科に紹介されるかにつきまして、回答いただけるような形にしています。

この件につきましては以上でございます。

1枚おめくりいただけますでしょうか。

児童・生徒の歯科保健行動に関する調査についてです。実施の課題といたしましては、歯周疾患及び歯周疾患要観察者が小学校から中学校へ進学するところ、また中学校から高等学校へ進学するところ、つまり小学校6年生と中学校1年生、中学校3年生と高等学校1年生で著しく増悪を見せる。また、在学中、特に中学校におきましてはほとんど増悪を見ないというような特徴的な動きが、これは東京都全体だけでなく、区市町村の別なく、また年度に関係なく、数値の大小はありますが同じような傾向がずっと見られてきている状況にあります。特に中高生といった学齢期におきましては、成人期につながる大切な時期です。この時期の歯科保健意識や行動の実態につきましては、十分に把握できていないから、学齢期、特に中高生、ターゲットを当てまして、口腔内の状況の改善に向けた支援策を検討するために実施調査を行うものです。

調査の概要です。調査対象は小学校5年生から高等学校3年生までとしております。1学年当たり1,000名程度、8学年で合計8,000名程度の調査を考えております。また、調査に当たりまして国公立の小中高校にご協力をお願いいたしまして、関係組織等々と調整した上で、お願いし実施いたします。

調査の方法ですが、5ページ目と見比べながらをお願いいたします。5ページ目、向かいまして左側が質問票になっております。こちらを、児童・生徒、あるいは保護者に記入いただく形です。向かいまして右側、こちらは口腔内所見になりますが、口腔内所見につきましては学校保健安全法に規定されております、定期健康診断の結果に従いまして、養護教諭等のご協力を得て、転記いただいて回収するというような形で調査を行っていきたいと思っております。

4 ページ目にお戻りいただけますでしょうか。スケジュールでございます。調査に關しましては、次年度の実施を考えております。31年5月、学校への調査依頼を行いまして、学校側からの生徒への調査票の配布、回収、それから口腔内所見の転記を行いまして、回収の時期は、9月を目途にしたいと思っております。学校を通じまして、東京都にご提出いただく形での回収です。9月以降、調査の集計、分析を進めまして、12月ごろを目途に調査結果を検討、公表していきたいと考えております。

1枚めくっていただきまして、裏面が先ほどご覧いただきました調査票と口腔内所見でございます。調査票に關しましては、高等学校や私立学校というところも含めてということで、通学時間等々についても伺っていききたいと思っております。それから、放課後、土曜日などの行動、睡眠時間、朝食、間食など、それから口腔ケアに關しまして歯磨きの回数とか、補助的清掃用具の使用状況、それからかかりつけ歯科医などについて伺うようになっております。

向かいまして右側ですが、口腔内所見です。特に歯の状態に關しましては、私立学校も公立学校も同じようなご回答をいただけるかなと思っております。歯肉の状況に關しましては私立学校と公立学校で取り方が違っているのかなと思っております。こちらのほうはご回答いただける形でご回答いただくというようなところで、必ずしもこの形に当てはまらなくてもいいかなというふうに考えているところです。

資料の説明につきましては以上です。よろしくお願ひいたします。

○櫻山座長 ありがとうございます。

この部会につきましては、宮武委員に座長をお願いしておりますが、宮武委員、何かご追加がありましたら。

○宮武副座長 今年度から来年度にかけて、二つの調査を実施するというところでございますが、「周術期口腔ケアに関する病院側の調査」については、ここにありますように57病院ということですので、これは相当回収率もいいし、分析ができるんじゃないかと思ひます。次の「児童・生徒の歯科保健行動に関する調査」は、初めての試みかと思ひます。それで、小・中・高というものを縦断的に見るとということと同時に、国公立、これを全部まとめてみるという点がユニークであろうと思ひます。何せ8,000人という規模になりますと、これは集めるほうも大変ですし、後の統計解析にも相当手間がかかると思ひますが、これによって出てきた結果は、非常に効果的な使い方ができるものではないかと思ひますので、その結果に期待したいと思ひます。

以上でございます。

○櫻山座長 ありがとうございます。

どちらの調査も非常に貴重なデータになると思われるのですが、何かまだまだ解析も進んでいません。片方は調査も実施していないわけですが、委員の皆様からご意見とかご質問がありましたらお願ひいたします。

じゃあ、私からあれですが、児童・生徒の歯科保健行動に関する調査は合計8,00

0人という数ですけれども、回収率を上げる努力というのは何か工夫はあるんですか。
学校の協力、お任せという感じになるんですか。

○三ツ木歯科担当課長 特に私立学校等に関しまして、直接お願いに伺いまして、確実に
ご協力をいただけるというところを募って、調査のほうを実施していく形でございます。

○櫻山座長 そうすると、100%を目指せるわけですね。

○三ツ木歯科担当課長 目指すところはそこでございます。

○櫻山座長 よろしくお願ひします。

よろしゅうございますか。どうぞ、矢澤委員。

○矢澤委員 新宿区の矢澤です。

児童・生徒の歯科保健行動のほうなんですけれども、さっき小学校から中学校の間に
大きなギャップがあるという話でしたが、何か仮説というか、こういうことじ
ゃないかなという、そういう調べようと思っていた仮説があるのでしょうか。

○三ツ木歯科担当課長 まず一つは、お手元の歯科保健推進計画のほうでいきますと、1
6ページあたりになるかと思いますが、28年度の結果のグラフが載っているかと思う
んですが、15ページでした。失礼いたしました。このような形で、小学校第6学年と
中学校の第1学年のところで、8ポイント上がっていくと。これ普通に考えますと、こ
こで母集団が変わるか基準が変わるかというようなところが考えられるのかなと、普通
に考えた場合に。

あともう一つ不思議なのが、この中学校の3年間の上昇率が非常に歯科疾患の疾病構
造上、なかなか珍しい。これだけ3年間フラットいくというようなところがございます。

恐らくこれ、基準というものは口腔内所見を取っていくわけで、取り方の基準が変わ
っているということではないと考えます。

そうするともう一つ、母集団が大きく変わっていくのかというようなところが考えら
れますが、そこまで大きく母集団が変わっていくこともないのかなと思っています。た
だ一点いろいろなところからご指摘いただいているのは、東京都においては私立学校に
進まれるお子さんも非常に多くいらっしゃるというようなところで、その辺が母集団に
影響しているのかと。特に中学校進学するところでございますので。

う蝕の状況も全国的な順位で、その見方がいいのかどうかとなりますけれども。小学
校6年生までは、う蝕が少ないものの割合で見ても、東京都は全国で5番目ぐらいにい
るのですが、中学校に入ると十何番目に落ちていきます。こちらも不思議なことに、高
校3年生まで15、6番目を上がりもしなければ下がりもしないでいくということがご
ざいまして、これは純粹に不思議だなと。なぜだかわからない。したがって、調査をし
てみようというようなところがございますが、やはり目的といたしましては、その結果
をもって学校歯科保健にどうのという話ではないので、やはりその先に向かって青年期、
特に30代、40代といったところの歯周疾患が増悪していくところに向かって、何が
できるかというような参考にしていきたいと、僕は考えております。

ご質問のお答えとしては、仮説としては母集団の変化というのがいろいろ指摘されているというところでございます。

○櫻山座長 矢澤委員、よろしゅうございますか。

○矢澤委員 はい。

○櫻山座長 確認ですが、15ページのこの図8というのは公立学校だけなんですね。

○三ツ木歯科担当課長 はい。東京都の学校歯科保健統計書でございますので、区市町村立、それから都立学校でございます。

○櫻山座長 私立の学校の統計というのは、特にないわけですね。

○三ツ木歯科担当課長 はい。

○櫻山座長 それ、今度の調査でどんな結果が出るか楽しみではありますが。

ほかには何かございますか。藤山委員、お願いします。

○藤山委員 東京都歯科衛生士会の藤山です。

東京都歯科衛生士会としては、いろんな地区で歯磨き指導を行っているんですけども、ちょうど長くやっている杉並で、どうしても小学校の歯磨き指導は敷居が。中学生が歯周病という中で、やはり一番は歯科検診において歯肉に所見のある児童がふえてきたということがありまして、試みで1年やったんですけども、小学校でも歯肉炎の話を難しいところまでは話さず、病気として知っていてほしいというレベルで、歯磨き指導イコールむし歯というところをちょっと変えていこうということがありました。今、まだ調査をして、データを解析中なんですけれども、このデータは非常に貴重かと思えますので、今までどうしても虫歯というところになっていたところを早目の歯周病の歯磨き指導というところのデータとしても、非常に期待しておりますので、よろしく願いいたします。

○櫻山座長 ありがとうございます。

そのほか、いかがでしょうか。よろしゅうございますか。

では、次の議事に移ります。議事(3)平成31年度歯科保健医療関係事業について、事務局から報告をお願いします。

○三ツ木歯科担当課長 それでは、資料3になります。

まず資料3、1ページ目ですが、平成31年度歯科保健医療関係事業についてということで、当医療政策部の所管事業だけでございます。主にこちらは、東京都歯科医師会に委託して、実施している事業です。

大きく二つに分けてございます。研修会・講演会、それから「普及啓発媒体の作成」です。資料の「研修・講演会の実施」、上二つの丸印、「障害者の理解促進に向けた歯科医療従事者向け研修会」、それから「児童虐待防止に関する歯科医療従事者向け研修会」、この2点が新たな取り組みとして31年度に実施をお願いしていくものです。

特に障害者差別解消法の基礎知識等、歯科医の先生方、余りご存じないというようなところもございますので、ご紹介できればと思っております。あわせまして、自院で対応

できない場合の医療連携に関しまして、東京都立心身障害者口腔センターで行っている研修会等もご紹介した研修を考えております。

2点目ですが、特に多数歯う蝕を中心といたしまして、定期健診、それから1歳6か月、3歳児、あるいは学校の定期健康診査等におきまして、また日常臨床におきまして、多数歯う蝕のあるお子さんに出会う機会がありますが、出会ってしまったときにどうしたらいいんだろうかというようなところに視点を当てまして、多職種と連携した指導、支援等について研修を実施していけたらと考えています。

以下に関しましては、現在行っていただいているものの継続でございます。昨年度の実績でございますが、「食育支援に関する多職種向け講演会」、こちらは年2回行っておりますが、毎回約200名ほど、年間400名程度のご参加をいただいているというところでございます。

それから2点目、「在宅歯科医療に関する歯科医療従事者向け研修」で、こちらは、会場の規模に多少影響を受けますが、1回あたり50人から100人程度のご参加をいただいております。

「在宅歯科医療に関する多職種向け研修会」。こちらは延べ4回で110名程度のご参加をいただいております。

続きまして、「周術期の口腔ケアに関する歯科医療従事者向け研修会」。こちらは、導入コース、基礎コース、応用コース、それから実習研修、あと都民向け講演会という形です。こちらのほうの実績、導入コース、基礎コース、応用コースのみの数になりますが、延べ150人ほどのご参加をいただいているところです。

続きまして、「東京都立心身障害者口腔保健センターでの研修会等」ですが、こちらは資料3の後ろのほうにつけさせていただきました研修案内をご参考ください。

2019年度行う予定の研修一覧です。個々の内容につきましては、資料でご確認いただきたいと思っておりますが、昨年度実績ですが、大きく分けさせていただきまして個別研修会、集団研修会、それから地域派遣研修会となります。個別研修会は、開催数19回で延べ、230名程度のご参加をいただいております。また、集団研修に関しましては、合計25回の開催で1,072名というご参加をいただいております。地域派遣研修会を実施しておりますが、こちらは27施設で660人の研修参加者がございました。

資料説明続けさせていただきます。資料3に戻らせていただきまして、「普及啓発媒体の作成」です。こちら、都歯科医師会をお願いして、進めていくものです。

一つは、「ライフステージに応じた歯科口腔保健、かかりつけ歯科医の普及のための、都民向け動画の作成」、アニメーション動画の作成を考えております。二点目、「ライフステージに応じた歯科口腔保健、かかりつけ歯科医の普及のための都民向けリーフレットの作成」、こちらは動画から引き抜く形にいたしまして、リーフレットをつくっていかうと考えております。いずれにしても、ライフステージに応じた歯科口腔ケア、それからかかりつけ歯科医とのかかわりにつきましてご説明させていただきまして、適

切な口腔ケアやかかりつけ歯科医を普及していくことを目的に実施するものでございます。

続きまして、「在宅歯科医療に関する医療従事者向けのパンフレットの作成」です。こちらは、特に新規開設の歯科医療機関向けに保健所等の協力を得まして、在宅歯科医療の取組をお願いしたいという内容のパンフレットの作成を考えております。

最後でございますが、「青年期向け（大学の入学生や、新入社員）の口腔ケアやかかりつけ歯科医普及のためのリーフレット作成」、こちらは青年期、おおむね18から30までの世代ということで、主に目標といたしますのが大学等の新入学生、それから社会人1年生というようなところ、ライフスタイルが変化するところに重点をおきまして、かかりつけ歯科医の普及等々を図っていきたいというところが目的です。

資料3、1枚おめくりいただけますでしょうか。

「障害者歯科医療推進モデル事業について」です。

先ほどご説明させていただきましたように、障害者歯科については今年度改めてワーキンググループをつくりまして、障害者歯科保健医療の推進に向けて検討を進めているところですが、ワーキンググループに沿う形ですけれども、モデル事業の実施を考えております。

目的といたしましては、歯科保健推進計画にも上げておりますが、「地域で支える障害者歯科医療」の推進ということで、地域の歯科診療所での患者受入に関する課題の抽出、地域の歯科診療所や障害者歯科に関して専門性の高い医療機関、障害者福祉サービス事業者、自治体等の連携の方策について検討するというところで考えております。

特にやはり、高度の専門医療機関と一般の歯科医療機関の機能分担と有機的な連携を目的としております。こちらのモデル事業の成果につきましては、ワーキンググループで報告いたしまして、東京都全域における必要な施策についてさらに検討を進めていきます。

事業内容についてですが、実施規模は保健医療圏といたしまして、2保健医療圏で多摩地区、区部、それぞれ1医療機関にお願いして実施します。

事業の実施者でございますが、区部では昭和大学、多摩地区では日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックに事務局のほうを委託して実施します。

事業内容に関しましては、資料に4点ほど書いていますが、会議の実施、必要なマニュアル、ツール等の開発というようなところを主体に考えております。それから地域の歯科診療所における問題等を抽出した中で、関係者等に対して研修会等の実施を考えております。

事業実施の期間ですが、平成31年4月1日から平成32年（2020年）3月31日までの1年間を考えております。

スケジュールですが、4月に契約締結をいたしまして、これおおむねのものでございますが、順次資料にあるスケジュールで実施して、1年終わったところでワーキンググ

ループへの成果報告を考えているところです。

資料説明は以上です。

○櫻山座長 ありがとうございます。

新たな研修事業、あるいはモデル事業なども実施しているということでございますが、本事業につきましては東京都歯科医師会に事業委託、あるいは指定管理もありますね。予定されているということでございますが、勝俣委員何かご追加、補足ございますか。

○勝俣委員 このことについては、内容についてどういうふうにするのかなということがまだ見えていなかったんですけど、大分わかってきて、これだったらうまくいけばいいなというふうに思っています。例えば、各医院、各診療所に障害者を見てくれる方がいるかどうかというところで、地域に関してというのも検討しているんですが、なかなかそれが、地域にしっかりそれをお願いしてもなかなか受け入れるのは難しいだろうということがありまして、この前のそれとか出ますとモデル事業で少し先が見えてくる感じがして、本当にこれ期待をしている事業だなと私は思っています。

○櫻山座長 ありがとうございます。

委員の皆さんから、この平成31年度歯科保健医療関係事業全般につきまして、ご意見、ご質問、ご要望等ございましたらお願いいたします。

矢澤委員、お願いします。

○矢澤委員 新宿区の矢澤です。

この歯科保健推進計画で障害者の歯科医療、あるいは歯科検診のことを述べていただいたし、こういう31年度の事業計画、あるいは30年度には区市町村が行う障害者の歯科検診に対しての補助制度というか、そういったことに取り組んでいただきまして、大変現場としては機運が盛り上がりしております。私どものほうでも、かかりつけ歯科医機能の推進事業という中の障害者の専門部会というのを立ち上げて始めたんですけど、とても内容がよくてというか、いろんな意味で今までも障害者の歯科医療や歯科保健の問題はかなり充実してきているなと思込んでいたんですけど、改めて施設の方々の正直なお話をいろいろ聞いてみると、まだまだそこまで行っていなかったというようなことも、正直にいろんな意見が出てきたり、障害者のネットワークの会議があって、その後夜、終わった後飲み会をしたんですけど、その場でやっぱりすごく障害者施設の方からも、とても率直な今まで聞いたかったし、これからいろいろ見てもらいたいという、いろんなご意見を頂戴して、とてもやっぱり都の動きが区にいい風を吹いてくださるなということを感じました。

感想ですかね。

○櫻山座長 ありがとうございます。

障害者の理解促進に向けた歯科医療従事者の研修会、新規でおやりになるということで、期待できるものかなとは思いますが。

ほかには何かございますか。お願いいたします。

○松田委員 東京都社会福祉協議会の松田と申します。

昨年度のこの会議は欠席をさせていただきまして、一昨年度出席をさせていただきました折に、介護事業者の立場にはなっておりますが、私の東京都社会福祉協議会では高齢者の施設、そしてまた障害者の施設も会員となつていただいている組織でございます、そのときに障害者の口腔衛生の重要さから、ぜひ連携ができればという発言をさせていただいたと記憶しております。

そういう意味では、先ほどの障害事業所向けの調査というのも大変ありがたいと思っておりますし、またその中で出てきた課題を踏まえて、今回のこの推進モデル事業の医療圏域での研修会、あるいは具体的なさまざまなマニュアルとかツールというものを大変期待しているところでございます。

また、どのような取り組みが進んできたのか、こういうようなマニュアル、ツールについて、もし私どものほうから事業者のほうに啓発、あるいは周知ができることがございましたら、ぜひ情報提供いただければありがたいと存じます。

1点、ご質問でございますが、今ご説明いただきました1ページ目の普及啓発用媒体の作成のところで、医療従事者向けのパンフレットについては配布の効果性は高いかというふうに思っておりますが、その上のライフステージに応じた、そういう意味ではこれは一般の方に対する周知、啓発になるかと思っておりますが、その部分と、青年期向けのリーフレットについて、どう対象者の方に伝えていくのかと。どんなに実際のリーフレットや動画が素晴らしいものであっても、その対象者に的確に伝えていくということが肝要かと思っております。今の時点でお考え、あるいはこれまでの取り組みがあればお教えいただきたいと思っております。

○櫻山座長 事務局、いかがですか。

○三ツ木歯科担当課長 まず、動画に関しましては東京都のホームページ、あるいは東京動画などでの配信を考えております。また、改めてという話になりますが、東京都歯科医師会にご協力をお願いいたしまして、会員の診療所のホームページにバナーを張っていただくとか、東京都歯科医師会のホームページにバナーを張っていただくなどを考えております。

またリーフレットに関しましては、撒けるところあらゆるところにと考えております。

あと青年期向けでございますけれども、ちょっとこれも具体的なところまでは進んでおりませんが、想定しているところだと大学等に協力をお願いする。それからまた、企業等についてもお願いしていくというところは一つ、策として考えているところです。

○松田委員 ありがとうございます。

○櫻山座長 松田委員、よろしいですか。

○松田委員 はい、ありがとうございます。

○櫻山座長 そのほかいかがでしょうか。

じゃあ、私のほうから。

研修・講演会で、「児童虐待防止に関する歯科医療従事者向け研修会」というのが新規で入っておりますが、以前から歯科医の先生が口腔内を見て、虫歯の数が多い、口腔内の衛生状態が悪いというのが、児童虐待の早期発見につながるということで大分周知されてきたと思うんですけども。早期発見のみならず、虫歯が多くて未治療であるということは、最近の考え方ではそれ自体がネグレクトという児童虐待であるというふうに判断されますので、大いにこの研修会に期待するものでございますので、勝俣先生、よろしくお願いいたします。

ほかにはありますか。よろしいですか。

後でまた、全体を通してご意見いただく場面もあろうかとは思いますが、この件に関しましては一応、当委員会です承するという形を取りたいと思います。ご異議のある方、いらっしゃいますか。

(異議なし)

○櫻山座長 よろしゅうございますか。

それでは、了承するという形で治めたいと思います。ありがとうございました。

それでは、続きまして議事の(4)でございます。「平成31年度以降協議会等のスケジュールについて」、事務局からお願いいたします。

○三ツ木歯科担当課長 資料4、「平成31年度以降のスケジュールについて」、こちらをご覧くださいませでしょうか。

次年度以降の本協議会、それから部会、ワーキンググループにつきましての開催の予定等でございます。

まず上段の協議会でございますが、第一四半期の後ろのほうでの開催を考えております。これに先立つ形で、部会では周術期の調査結果がまとまってくるので、まずこちらを部会でご報告させていただいて、その後で協議会にまたワーキンググループに関しまして、今行っております障害者施設等に関する調査の結果がまとまっていますので、ワーキンググループに報告させていただきまして、ご検討いただいた上で、第1回の協議会の開催と考えております。

中段、部会ですが、学齢期の調査に関しましては実施が5月以降になっていきますので、夏の回収を踏まえまして、集計、分析を経まして第三四半期の後半、年末もしくはちょっと翌年かかるくらいの時期になるかもしれないですが、第2回の部会開催を検討しております。

あわせまして、モデル事業の中途経過等も踏まえた中で、ワーキンググループのほうも第2回のワーキンググループを考えさせていただいております。部会、ワーキンググループを経まして、第四四半期に第2回本協議会の開催を予定しております。

2020年度以降に関しましても、同じような形で実施していこうと思っておりますが、2020年に関しましては東京都保健医療計画の中間評価がございますので、あわせて本計画の中間評価、それから2021年に関しましては、達成度調査、これらを踏

まえまして、次期計画への反映というような形で進んでいきたいと思っております。

スケジュール等につきましての説明は以上でございます。

○櫻山座長 ありがとうございます。

スケジュール等につきまして、ご質問、ご意見等ございますか。分析が期待されるので、次の協議会が楽しみでございますが、よろしゅうございますか。

一応、予定されていた議事はこれで終わりなのですが、全体を通して何か委員の皆様からご発言があればお願いしたいと思っております。

鈴木委員、お願いいたします。

○鈴木委員 鈴木でございます。

ある地区の学校歯科医それから健康福祉センターの衛生士、あるいは養護の先生たちの会で講演をさせていただいた際に提出された資料が、先ほど「いい歯東京」の15ページに載せてあったグラフに非常に近いものがありまして、全体的に傾向を見るという形はあろうけれども、一部の地域でも同じような傾向があるということで、いい歯東京のお話もその際にご紹介をさせていただきました。

それからもう一点。虐待の新しい研修のことです。学校歯科医として検診を、4月から6月までやっていくわけでございますけれども、どうしても虐待を見つけにくいというのは確かにあります。この子は普通にむし歯が多いのか、それとも虐待のせいなのかというのが非常に興味がありまして、先生がおっしゃったように、確かにネグレクトがあれば歯医者さんにも行かないし、う蝕が多いのだろうなと思いつつ、虐待独特の口腔内所見というのはないのかなと、そういう疑問もわいております。そういったことも研修会のほうにかけていただければなと思っております。

以上です。

○櫻山座長 ありがとうございます。貴重なご意見で、なかなか難しいとは思いますが、本当に研修会に期待したいと思っております。

そのほかいかがでしょうか。矢澤委員、お願いします。

○矢澤委員 新宿区の矢澤です。

実は私の区でも、乳幼児期から学齢期に進んでいくところの、そのつながりをうまくするためにも学齢期の歯科保健を考える部会を乳幼児期の部会に拡充して始めたんですけど、鈴木委員にお伺いしたいんですけど、一番僕がもうちょっと情報がほしいなと思っているのは、学校歯科保健活動で極めて、言葉がうまく言えないんですけどうまくいっているというか、これはとても成功しているなというような例が何か知りたいな思っていて。そういう研修会がもしかしてあるのかもしれないんですけど、私たち健康所管部が不勉強なのかわからないんですけど、それちょっと知りたいな思っているところなんです。

もちろん、全くないわけじゃなくていろんなところでアンテナを高くしていると、例えば食育みたいなことを授業でやっていらっしゃる歯科医の先生で、うちにお招きし

て・・・やっていただいたんですけど、そういう人もいらっしゃるんですけど、全体としてどういう活動がすぐれた活動としてあるのかなというのが一つ知りたいところがございませう。

二つ目は、さっき松田委員がおっしゃったように、島の、都がせつかくこういうツールをいっばいつくってくださっても、区市町村が頑張らないとやっぱりうまく普及できないと思っているんですけど。例えばうちも今、地域に出ていっていろいろ健康教育をするということをするごく、区としてもあるいは保健センターとしてもそういう方向にしようと思っているんですね。つまり来る人を待っているのではなくて、こっちから出ていくというふうにしたいと思っているんですけど、そういう中でヘルスプロモーションのように地域をうまくつくっていくような活動が、もちろん田中委員のようにこうやっていらっしゃるのによく知っているんですけど、どういうふうにしたらそういうふう地域に歯科保健という切り口で地域普及できるのかなという、そういうきっかけや事例とか何かあれば、ぜひまた都のほうでそういうのを集めていただいたら教えていただければうれしいなと思っています。

その二つ。要望ということで、すみません。

○櫻山座長 前半は質問になるんですか。

○矢澤委員 前半は個別事例だったら、ちょっとここでお答えいただきたいんですけど、そういうすぐれた、すぐれたということはじゃあすぐれてないの何かということになってしまいますけど、どういう活動をうまくコーディネートしたり、推奨していらっしゃるのかなというふうに、ちょっと質問です。

○矢澤委員 鈴木委員、もし何かそのようながありましたら。

○鈴木委員 統計をしていくと、地域別にずっとDMFとか低い地域というのがありまして、そういう地域からの発表を聞きますと、学齢期というよりは本当に幼稚園、保育所の頃から非常に熱心に活動をしているようです。

今中学校担当の学校歯科医ですけれど、小学校から上がってくる段階の数値は抑えようがない。それをどうやって悪くしないようにして高校につなげるかという形になるので、最初の小学校、あるいは幼稚園、保育所の学校歯科保健こそ実は重要なのではないかなという気がしておりますので、ぜひ先生も学齢期のほうに広げていくというのも一つの手ですけれども、保育所、幼稚園を見直して、その部分の補強というか補完をしていくというところも、実は効果的なのではないかなと感じています。

以上です。

○櫻山座長 ありがとうございます。矢澤委員、よろしいですか。

そのほか何か、ご発言ございますか。よろしいですか。

机上に配付されている「噛みんぐりレポート」は、これは田中委員でいらっしやいますか。簡単にご説明いただければ。いつもいただいています。

○田中委員 田中と申します。よろしく申し上げます。

この会で「噛みんぐりレポート」を何回か、いつも持ってきているんですけども、これのきっかけは自分たちの歯を健康に保ちたいというのを勉強しながら、それをもっとみんなに知らせたいね、伝えたいね、学んだものを伝えたいということから始まって、各保健所で勉強しているものが、五つの保健所がありまして、それを一緒にしたらもっといい状況で皆さんに伝えられるんじゃないかなということで集まった会が、この間、去年が15周年になったんですね。もうそんなに続いたんだということなんですけれども、今、矢澤先生が今言っていたように、どんなふうにそれを伝えていこうかなということ。今は小学校の低学年と保育園からいろいろオファーがありまして、私たちの学んだことを低学年向けに、歯を磨こうね、歯は大切だよということを伝えているんですね。今は低学年だけなんですけれども、長い間やってきたときには一つの学校で1年生から6年生まで6年間やったということで、全部1年生なんですけども、毎年行くとやったことあるねというのが聞かれてくるようになったんですね。1年から6年まで一つの学校で行うことができたんだというのもありましたけれども。

結局皆さんで、どんなふうに伝えようかなというのを、まずかむことが大切ということで、どういうふうに伝えたらいいかなというところでいろいろ私たちも考えて、やっぱりかむのは何かかんでいただいたほうが子供たちにわかりやすいんじゃないかということで、おせんべいを提案したんですね。それで一つ、おせんべいをつくって皆さんにかんでいただいたら唾液が出る、出ないというふうにして、じゃあ、お口のどこがどんなふうに動くということを、そんなことをやっています。

○櫻山座長 2ページのところに、あだちっ子せんべいづくりとあります。それですか。

○田中委員 はい。あだちっ子せんべいって、たまたま矢澤先生がさっき食育と言ってましたけれども、私がちょっと食のほうでも勉強していますので、あだちっ子せんべいというのにちょっと力を入れまして。おせんべいどんなのがいいか、まずかむのにはどんなのがいいかなということで、やわらかいものをかんでもしろうがないし、かみごたえのあるもの、そして甘くないものということでいろいろ考えた結果、初めはいり米というところから始まったんです。おコメをいって、それを皆さんにかんでいただいたんですね。それも結構好評でした。こんなにおコメって甘いんだとか、よくいってたんですけど。その次におせんべいを考えたんですけども、おせんべいもやはりおコメ、ご飯をたいて潰して、そしてじゃことかそういうものを入れてかむということやっています。ネーミングも「あだちっ子せんべい」という形でネーミングをつけたんですけども、それが教材になってきているのかなと思います、そんなことをしながら15年続いたんだなというふうに来て。

やっぱりかむこと、それから食育ということで、自分たちがお口に入れるものがただ口に入れるんじゃなくて、いろんな人の手がかかっているよということまで伝えたいなと。そして自分の口に入って、よくかんで、そして唾液というのはとても大切なのだということで、おせんべいというのはすごく効果があると思うので、皆さんというかもし

そういうかむことをお勧めするのですでしたら、そんなこともやってみるのもいいんじゃないかなと思ひまして。結構、学校に行きますと好評で、生徒がすごく喜んでくれます。

そんなことをやっています。

○櫻山座長 ありがとうございます。なかなかネーミングもすばらしいと思ひますけど。

○田中委員 ネーミングもせっかくだからといって、著作権を登録して、もう私たちのものよという形で一応。そうすると少し、皆さんも頑張る力がふえてくるのかなと思ひて、そんなことも皆さんに経験していただいたりして、楽しみながらしっかり勉強していただければと思ひて。自分たちの口腔も含めて、やっぱりかむことの大切さ、食育ということも含めて進めています。

○櫻山座長 ありがとうございます。

予定されていた議事も大体終わったんですが、きょうは3月28日木曜日ということで、あしたは金曜日。土日は30、31ですが、月曜日になると4月1日で新年度になります。

矢澤委員も先ほどあしたとか言っていましたけど、31日までだろうと思ひますが。一応、この会議は今回が最後になるかと思ひますので、矢澤委員よろしければ一言いただけますか。

○矢澤委員 どうも、大変先生から過分なご紹介をいただきまして。

私、37年間行政で勤務させていただきました、私が入ったころって杉並の保健所に入ったんですけど、歯科医師で行政に入る人がまだ少なかった時代です。ずっと37年間やってきて、本当に職場の同僚や先輩や、あるいは職員の方、あるいは区民の人たちにいろいろ教えてもらいながらここまで来たというふうに思っております。この会議に出させていただいて、いろんなお話を聞かせていただく中で、やっぱりもっともっと地域に出ていって地域づくりをしていきたいなという思ひで、新宿でもやってまいりましたが、なかなか意を尽くせませんでした。本当にこういった会でいただいたご指導や方向性をもっともっと区市町村で生かしていきたいなというふうに思ひました。

本当に短い間でしたけど、お世話になり、ありがとうございます。

○櫻山座長 矢澤委員、ありがとうございます。本当に長い間ご活躍いただいて、これからもご発展をお祈りしております。

この機会に何か、ほかの方々ご発言よろしいですか。

(なし)

○櫻山座長 それでは、事務局から事務連絡をお願いいたします。

○三ツ木歯科担当課長 委員の皆様方、活発なご議論ありがとうございます。

議事録の取り扱いでございます。今後、会議録、当日資料につきましては先ほどお話しさせていただきましたように、東京都のホームページ等で公開してまいります。後日、会議録のほうをお送りさせていただきますので、その折にはご確認のほどよろしく願ひいたします。

次回の会議の会議日程等につきましては、改めて調整、ご連絡をさせていただきたい
と思います。

事務連絡は以上でございます。

○櫻山座長 ありがとうございます。

何もなければこれで会議閉じさせていただきたいと思いますが、よろしゅうございま
すか。

では、これをもちまして本日の協議会、終了といたします。どうもありがとうございました。

(午後 4時02分 閉会)